第191号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価　1部　5円

なかさと

6月1日現在

人口	7,472(＋9)
男	3,701(＋7)
女	3,771(＋2)
世帯数	1,707(＋1)

カッコ内は前月との比較

苗場山麓総合開発計画
開発のあらまし

(1)開発地域

苗場山麓開発地域は、中里村十日町市、津南町の三市町村にまたがる信濃川右岸の河岸段丘地で、全国でも指おりのすぐれた条件をもつ開発可能地域として注目されております。その開発可能地面積は一万六千ヘクタールにも及ぶ広大な地域です。今計画されているのは、そのうち約五千二十七ヘクタールで中里村で関係する面積は七百九十五ヘクタールです。その内四百二十七ヘクタールは国有林で、その他三百六十八ヘクタールは民有地となっております。中里村で関係する地域は、十日町市の境界線より国有林を含めた程島の大沢谷川までと、倉俣、大原及び小松原の地域で北陸農政局の出先機関である信濃川水系農業水利調査事務所で調査が進められております。

(2)開発構想

現在山林、原野及び国有林等の未墾地の開拓と併せて既存の水田や畑のほ場整備を行ない大区画ほ場と部落からほ場団地と団地を結ぶ幹線道路（舗装道路）を中心とした道路網及び用排水系統を整備し大型機械による作業別営農団地を構成し、又出荷施設等必要な近代化施設を配備し農業の近代化をはかります。又、清津川上流に多目的ダムを構築し幹線用水路に導水を行ない、畑にはスプリンクラーによる畑地かんがいを、水田には用水補給を行ない自然条件に左右されず変動する農業情勢にも対応できる農業基盤の確立を目標に国営事業で実施される計画です。

(3)今年行なわれる工事

調査事務所で行なう気象、土質、道路、水路、営農の調査計画と合わせて、当中里村役場産業課苗場山麓開発係では、部落説明会現地調査の実施、受益者等の話し合い、一筆ごとの現況調査、営農計画の検討、国有林への参画農家の把握、参加、不参加の意志確認を行なうなど、調査事務所や県当局と地元との間に立って、積極的に調査計画の推進をはかります。この開発事業は、農業はもとより、地域の将来を左右する大事業でありますので、関係者をはじめ、広く村民の皆様の御理解と御協力をお願い致します。（産業課）

郡市社会教育大会
7月16日・中里村で!!

中魚沼郡十日町市社会教育大会は今年で十八回目を迎える訳でありますが、今年は中里村が受持となり次の要領で実施されることとなりましたので、ご多用中とは存じますが、せっかくの機会をのがすことなく、社会教育関係団体はもちろんのこと村民こぞって参加されるようお願い致します。

一、とき、七月十六日（日曜日）
二、ところ、　田沢小学校
三、大会主題、「過疎地域における社会教育のあり方について―生涯教育をみんなで考えよう」

主催、郡市社会教育振興会、中里村教育委員会
後援、郡市教育委員会連絡協議会・中里村
講師、新潟大学教育学部教授　玉井成光先生
パネル討議
司会者　川西町社会教育課長殿
パネルマン（予定者）
○津南町社会教育主事福原順作殿
○十日町市社会教育委員仲林フミ殿
○中里村公民館長上村二郎殿
○川西町婦人会半戸リト殿
○津南町青年会殿
○十日町市飛渡ＰＴＡ副会長中野滋殿
○中里村老人クラブ会長上原国由殿
アトラクション
清津峡さざ波会
田沢、貝野吟詠会
ＰＴＡコーラスグループ
中里村青年会コーラスグループ

中里村成人式
7月5日、役場議場で

公民館では、例年実施している成人式を、来る七月五日、午前九時より、役場議場において行なう予定です。

該当者は、昭和二十六年四月二日から二十七年四月一日までに生まれた人で、村内に居住している人となっています。但し村外、県外に就職している中里村出身者で、希望者は、公民館にご連絡いただければ、参加できます。

なお、「お知らせ」のでき次第各種団体長を通じて配布しますので多数参加されるようお申し込みください。

なお、記念講演に、新潟短期大学助教授、岸井勇雄先生から「生きること、愛すること」というテーマで、お話しをしていただくことになっています。

成人となったことの意義を深めていただくため、揃ってご参加くださるよう、お知らせ致します。

福田屋さん、村に十万円寄贈

上山の福田屋商店主上原松二さんは、藤田村長さんが、村の業務に日夜熱心に尽され、村民に奉仕しておられる姿に感激し そのお礼にということでこの程村の何かに役立ててほしいと十万円を寄附されました。

◎村長談　村の有力者から多大なる御寄附と、おほめのお言葉で光栄です。不肖な村長ですが、御厚意を体し、益々村の平和と発展の為、全力投球して、御恩返しをしたいと思います。

七月十四日は
農業委員選挙

今回の選挙は第八回目。

本年は、昭和二十六年に「農業委員会等に関する法律」が施行され、農業委員会制度が発足してから二十一年目にあたり、第一回目の選挙が昭和二十六年八月に行なわれてから今回で八回目になります。

◎農業委員の選挙は、公職選挙法を準用して実施される。

農業委員の選挙は、公職選挙法を準用して、農業者の直接選挙によって行なわれるが、地域農業の発展と農民の利益代表機関として重責をになう新しい選挙による委員は、本県の場合六十九委員会（委員会全体の六十二パーセント）の区域において約十三万世帯の有権者により千八十一名の委員が選ばれます。

◎意義深い今回の選挙

農業をめぐる諸情勢は依然厳しいものがあり、特に農家労働力対策や農地保有合理化あるいは、農村地域への工業導入等の農業構造政策の対応等農業委員会の任務は、ますます重要性を加えている。このような時期に農業委員会の選挙による委員の選挙が実施されることは誠に意義深いものがある。この重要な任務を果たすにふさわしい識見と活動力のある人を選ばなければならない。（産業課）

新入社員の研修に想う
（宮川嫩葉氏随想抜萃）

昔の青年だ、今の青年だって青年特有のありあまる精力と覇気に変りはない。だが昔の青年は徴兵検査という難関があり、合格すれば二年間という服役がある。だから徴兵検査の時、衆人監視の中で花柳病が発見されさんざん怒鳴られ大恥をかくのが、死ぬよりつらいから女遊びは慎しんだし、丙種なんかは人間並に扱われなかったから、自重自愛したのである。更に甲種合格ともなって入営すれば、戦陣訓とビンタで徹底的に自己を滅し、至上命令に服す厳格な訓練のもとに、体質が焼き直されたのであるから同じ青年でも筋金が通っていた。

ところが現代の青年は野放しのまゝ、学校では先生と同格の立場で主義主張を通し、それが通らなければ校門を封鎖し、デモルといった具合で、釈迦に説法どころか場合によっては恩師をつるし上げにして、監禁するという始末だから、肩書や格好だけで就職し入社する段になると、安心して職場を担当させるわけにはゆかない。そこで経営者側では新入社員に対し特訓が行われる。要は社の方針に即した猛烈社員の養成であり、心身の叩き直しである。

だいたい近代学生そのものは口で言うことはたっしゃであるが、書かせてみたら誤字や脱字や当字だらけで文書課あたりへ廻したら、てんで役にたたないばかりか一本の回答文も礼状も書き綴れない始末である。それというのも極度に制限された漢字さえ知らず、語句も同様とあって、今の大学卒が国語力において昔の中学生に劣っているそれどころか若い大学の先生の手紙をみても満足のものはない。漢字はもちろんであるが語句にしても常識の対話では二千ぐらいですむが、作家ともなれば通用しないのである。

世界中どこの国でも国語だけは重視して優先して教育する。日本の文部省は国語を軽視制限して文華の根を枯らした。だから一流作家は制限を無視するがそれがうるさければ書くのをやめて終った。だから戦後には純文学らしい文学は消え、低劣な痴漢小説が簇生し流行したのである。

一方入社して当面する実技力は専門の教育を受けながら、それが学問としての概念であり、外国のように学校では理論を学び、長い休暇の間には工場で実技を磨き、年間の学費まで稼ぎだすといった真に役立つエンジニア養成ではないから、ネジが一本とんだ機械の故障でも全体を分解しなければならぬといった始末とあって当用の役にたたない。

こうした中途半端な教育を終り、卒業したが最後書物を捨て研究はマージャンかボーリングに熱中するのであるから、入社採用の会社が研修と称して座禅でしごき、猛烈社員養成と称して戦時の学徒を猛訓練したような訓練を行う次第である。

この帯に短く襷に長い空手形を、どのように再教育するかについては当事者側にとっては真剣に考えなければならぬ。

要は人間を尊重し然る上に人間性を高め、深め、強靭な自主性をもち、礼儀正しい健全な社会人の養成が先決であり、早期に月給とり根性に感染することのないように予防すべきである

（宮川氏は十日町市と縁因深き著述家であります）

テレビでおなじみの
チロリン村とくるみの木
の劇団員来村

去る五月二十二日、テレビの子ども番組でおなじみの、チロリン村とくるみの木の劇団員が来村し、中里村児童館において約一時間あまり人形劇を演じてくださいました。

同劇団は何組かに分かれて、全国をまわっているのですが、たまたま十日町の市内で、幼稚園まで、来ていることを健青会の中里支部員が聞き、へき地の幼児こそなまのものをと、交渉して、この運びとなったものです。十日町では、幼稚園児一人百五十円の経費なのだそうですが、健青会のみなさんの熱意と誠意に劇団員も賛同してくれて、五千円で何人でもという事で、健青会で負担し、短かい時間でありましたが、有名なりっぱな人形劇を、しかもたのしくみせていただき、園児は大変よろこんでいました。

（写真は人形劇の一コマ）

中里文芸
六月投稿

俳句

露丘
衣更えて街あたらしき
灯がつけり
峰月
夏草や思慮まとまらず瀬に泳ぐ
芒月
生花に切らんと蜜蜂目の先へ
汀歩
奔放な少年の歩巾で拡がる野火
大泉
十薬の闇へまぎれゆく理念
涼子
白い芽花咲かせる思索の
中の荒野
梢陽
さわやかな玉子半熟　柿若葉
由記
田疲れをきそい合っての山の宿
おのえ
移りゆく花期よ霧笛の傍観者
キクノ
田を植える高空に鳶舞いうたう
深雪
柿若葉　育児日記の余白なし

人生往来

◎産声

氏名	父の名	部落
上原三千代	文男	上山
斎藤みどり	泰男	倉俣
南雲泰子	茂	堀之内
南雲啓子	茂	堀之内
根津雅美	正平	芋川
富井学	松蔵	市之越
関正富	正利	上山
高井芳美	忠博	田中

◎高砂

新郎登坂重文（二三）川西町
新婦山田キヨ（二五）程島
新郎村山長次（二四）田沢
新婦吉楽昭代（二二）宮中
新郎藤ノ木利直（二八）小出
新婦上村義枝（二三）十日町市
新郎古沢新太郎（二七）十日町市
新婦羽鳥照美（二三）新屋敷
新郎高野八郎（二九）十日町市
新婦藤田恭子（二三）宮中
新郎保坂達雄（二七）芋沢
新婦椙沢洋子（二三）十日町市
新郎柳　良二（二四）十日町市
新婦太島利枝（二三）如来寺
新郎村山文夫（二三）田中
新婦福原信子（二四）津南町
新郎南雲一正（二三）荒屋
新婦村山フジ子（二三）津南町
新郎佐藤重男（二四）小千谷市
新婦広田美代子（二三）干溝
新郎岡田義明（三〇）十日町市
新婦山田直子（二二）東田尻
新郎富井福一（二八）十日町市
新婦岡村小夜子（二三）荒屋
新郎俵山十二（二三）十日町市
新婦吉楽喜代子（二二）宮中
新郎柳沢豊太郎（二四）津南町
新婦樋口美知子（二三）干溝
新郎本山勝久（二四）浦川原村
新婦吉楽ミイ（二三）上山
新郎川田秀雄（二八）田中
新婦村山英子（二四）桂
新郎山口　宏（二六）十日町市
新婦江口律子（二四）干溝
新郎川田茂和（二三）東京都
新婦保坂とし子（二二）芋沢
新郎山田孝雄（二五）田中
新婦大口弥恵子（二四）重地
新郎石沢　巧（二三）津南町
新婦江口　清（二三）干溝
新郎太田正之（二七）神奈川県
新婦上原克代（二六）上山
新郎保坂松男（二七）芋沢
新婦金沢美佐子（二三）十日町市
新郎江田直郎（二五）埼玉県
新婦小川タマ子（二三）堀之内
新郎鈴木善昭（二八）東京都
新婦服部スミエ（二六）桂
新郎島田金治（二七）倉俣
新婦涌井ヨリ（二七）津南町

◎昇天

氏名	年令	部落
富井保夫	（二八）	田中
清滝ソヨ	（六〇）	東田尻

住宅改良資金融資ご案内

住宅金融公庫

☆申込受付期間
昭和四十七年六月一日(木)から同年十一月三十日(木)まで（ただし、申し込みが貸付予定数に達したときは、申し込受付期間中であっても締め切ることがあります。）

☆受付場所
改良をしようとする住宅の所在地に近い「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関（ただし、改良予定の住宅所在地と同じ都道府県内のものに限ります。）

☆申し込みの方法について

◎申し込みのできる方
次の各号のすべてにあてはまることが必要です。

(一)自分が住むための住宅を改良すること。

(二)改良する住宅を所有していること。

（申込者の直系尊属又は配偶者の所有するものを含みますが、この場合は所有者の承諾が必要です。）

(三)保証人があること

(四)日本国籍をもっていること。

◎融資を受けることができる住宅
改良後の住宅の一戸当たりの住宅部分の床面積が三十平方メートル以上となるもの。

◎融資を受けることができる住宅改良工事
左記(一)(二)(三)の工事又はこれらをあわせて行なう工事をいいます。

(一)増築工事
既存住宅の存する敷地内において住宅の床面積を増加する工事をいいます。

イ増築には、建増しによる増築と既存住宅中の非住宅部分を住宅部分に変える模様替えによる増築の二種があります。

ロ増築部分は、既存住宅に接続されるものでも別棟のものでもかまいませんが、別棟として新たに住宅部分を作る場合は、その増築部分が既存部分と一体となって、一戸の住宅として使用される場合に限ります。

(二)改築工事
既存住宅をとりこわし、改めて建築する工事をいいます。この場合、融資を受けることができるのは、住宅部分の工事だけです。

(三)修繕等の工事
修繕等の工事とは住宅部分について行なう次の工事をいいます。

イ耐久性を高めるための工事
（修繕）基礎、土台、外壁、柱、ひさし、屋根、とい、床、内壁、天井等の耐久性を高めるため必要な工事

ロ防災上、安全上必要な工事
建物のかさ上げ工事又は床を高くする工事、布基礎又は土台の敷設工事、筋かい火打等による補強工事、外壁を防火構造等にする工事、屋根を不燃材料で葺く工事、柱又ははり等を補強する工事、その他防災上、安全上、必要な工事。

ハ居住性を良好にするため必要な工事
居室の日照、通風、採光、換気を良好にするため開口部等を設ける工事、住まいの合理化をはかるため、間取りの変更等を行なう工事、台所、浴室、便所等を改良する工事、その他居住性を良好にするため必要な工事

注一、前記(一)(二)(三)の工事に通常附随して行なわれる電気、ガス、給排水等の屋内附帯設備工事（水洗式便所設置工事を含む）は融資を受けることができます。

注二、次のものは原則として、融資を受けることができません

屋外附帯設備工事（門、へい、側溝、浄化槽、屋外の電気、ガス、給排水設備工事等）及び造り付け以外の設備の取替え又は修繕（ただし、台所、流し及び調理台は貸付けの対象とする）

◎融資額等

(一)融資額の限度
住宅改良に通常必要とする費用の額の七割以内の金額で十万円から五十五万円まで。

◎細詳を知りたい方は、役場建設課までおいで下さい。

食中毒に注意

食中毒の発生時期を迎え、そのまんえんが憂慮されます。すでに県下においては次の表の様に発生をみており、すでに警報第一号が発せられました。村の皆さん方の注意を望みます。

	47年度現在	46年度同期
件数	5件(1)	3件(0)
患者数	62件(3)	63件(0)
死亡数	1人	0

（ ）中は十日町保健所管内に発生（保健衛生課）

停電のおしらせ

六月二十八日、九時三十分から十三時まで

荒屋ー山崎一部ー通り山ー小出ー土倉ー倉下ー芋川ー田代
牧畑ー西方ー西田尻、市之越

七月の事業のおしらせ

◎レントゲン検診
六月二十六日～八月二十五日

◎脳卒中特別対策第一次検診
六月十二日～七月十日

◎脳卒中特別対策第二次検診
七月二十九日、七月三十一日
八月一日

◎子宮癌検診
七月二十七日

◎愛の血液助け合い運動月間
七月一日～七月三十一日

◎献血
公民館前 七月十二日
十時より三時 （保健課）

清津峡小学校土倉分校前で新任教職員の記念撮影

新任教職員

管内学校見学行なう

例年教育委員会では、村内全教職員の面識会を主催して来ましたが、今年は新任教職員の管内学校見学に改め、例えば倉俣小学校に転入された先生でも貝野や清津峡、土倉分校等村内の全部の学校を見学することにより、全校の様子や地域をより早く知り理解して戴き、教鞭をとられる際の参考になればと新たな試みとして実施することとなった訳ですが、当日（六月一日）は、午前九時から役場議場において面識会を行い、村山教育長の経過報告と本会の主旨説明があり、関根教育委員長の開会の挨拶、藤田村長の激励の言葉を戴き、来賓及び新任者の自己紹介、新任者代表で田沢中学校長村松典方先生の挨拶があり高橋教育委員の、コカコーラによる乾杯の音頭に、全員爆笑のなごやかな雰囲気のうちに式を終わり、マイクロバスで貝野小中学校から見学を始め、田沢、倉俣、高道山、清津峡、土倉の順に廻り、最後に市之越にのぼり、清津川右岸段丘地開拓パイロット事業による広大なる開田を見て、教育長の名バスガイド振りで有意義な一日を過ごしました。

なお帰途校長先生方の「苗場山麓開発事業について是非説明会をもってほしい」との強い要望があり、六月五日村内校長会の際、役場上村産業課長を招き説明会をもって戴き、更に現地視察も計画して戴きたいとの全員一致した希望により、これも近く実現すべく村長の許可を受け教育委員会と産業課共同で計画することとなりました。

◎新潟県青年海外派遣団員募集

○年令二十才～二十六才未満
○派遣先　東南アジア
○派遣期間　昭和四十八年二月中旬
○申込〆切　昭和四十七年七月五日
○申込先　中里村教育委員会又は役場社会課

青年の船で東南アジアへ

六十日間の研修

去る五月下旬、健青会中里支部（支部長、林正一氏）へ、健青会本部（東京都台東区東上野一の二六の三）より、中里支部員の藤田真実君が、総理府の書類審査にパスし、青年の船に乗れるようになったとの連絡がありました。

この健青会は、同紙の二月号に掲載したように、社会奉仕団体で、中里支部においても、各バス停にタバコの吸いがら入れ青少年健全育成の面からの白ポストの作成、村内の子ども会を通じて、不用雑誌を回収し、沖縄への寄贈、辺地の子どもに映写会と、巾広い奉仕活動を、行なっているものです。

この青年の船は、全国で五十人募集している中で、健青マンが、十人推選され、申請されたようです。

また藤田真実君に関しては林支部長が中央委員としての活躍と地元選出国会議員の強力なる本部への働きかけによって、この運びとなりました。期間は、九月下旬から十一月の下旬にかけて、東南アジア、オセアニアの各国を、六十日間の予定でまわってくるものです。

また、健青会の支部は、県内には、新発田市と当村にしか出来ておりません。

なお、七月下旬から八月の上旬にかけて（二週間）高井利明君（市之越）も、韓国へワークキャンプに出かけることになっています。

中里支部は、発足三ケ年目にして海外研修に、三人の会員（会員数十三人）を送ることが出来るのは、やはり、健青会という奉仕団体に所属しているおかげだと、林支部長さんは、語っておられました。

今迄、中里支部では、女性の会員は、あまり募集していなかったのですが、正式に女性会員も募集して、会の充実と地域の発展にがんばりたいと、語っておりました。

津南町 中里村地区小学校研修会

田沢小学校で行なわれる

六月十二日、田沢小学校において、津南町と中里村の全小学校の先生方が参加して津南町中里村小学校研修会が行なわれました。

当日は、八時四十五分から授業参観をし、十時から開会式に移り、地元教育委員長の関根隆光さん、全教育振興会長の上村二郎先生の開会の挨拶に始まり藤田村長さんの祝辞、津南中里地区学校指導主事深井先生の各教科毎部会の講師紹介、中越教育事務所の学校指導課長樋山先生の挨拶並びに指導が行なわれ、十時三十分から国語、社会、算数、理科、音楽、図工、体育、家庭、道徳、特別活動の十部会にわかれ、午後三時まで熱心な研究協議や実技が行なわれ、今後の学校教育における成果が期待されています。

保障額更に引きあげ三百万円

!!新種保険好調にスタート!!

越後田沢郵便局

昨年九月に発売の新種保険は以来八か月余、下記のとおり好調に伸び続けております。これもみなさまの深いご理解の賜物と感謝いたしております。特に「学資保険」の普及がいちじるしく、お子さまに対する愛情の深さ、教育の熱心さがうかがえます。

簡易保険は契約高十三兆円、その資金総額も三兆円となりました。さらに五月十五日からはおひとりの契約保険金額が最高二百万円から三百万円に引き上げとなりました。郵政省ではこれを記念して五～六月を「最高加入額三百万円引き上げ記念、簡保募集増強運動」を実施中です。

大きな災害やひんぱんに起こる交通事故のたびに指摘されるのが、一家の大黒柱であるご主人に、意外とまとまった保険をかけておられないという事です

この機会に思いきって大きな保障を簡易保険からお選びになられるようおすすめ致します。

傷害特約付で万一の場合九百万円（クローバー保険で七百五十万円）

詳しくは郵便局の窓口へどうぞ

（電話田沢七〇番）

新種保険の発売状況
(保険料額は1ケ月分です)

	件数	保険料額
学資保険	61件	177,060円
特別終身保険	22件	54,660円
㊟	83件	231,720円

香典返しに寄附

芋沢の保坂秀一さんは、このほど亡父勇二氏の香典返しとして参万円を社会福祉事業に役立ててほしいと寄附されました。

新刊図書紹介

お気軽にどうぞ

今月新しく購入いたしました新刊図書を紹介します。

○誰も教えてくれないこと　著者　上田敏晶
○論語を活かせ　著者　武藤紀郎
○新しい礼儀作法　著者　松平靖彦
○女の顔　著者　平岩弓枝
○休め！サラリーマン　著者　新井喜美夫
○サラリーマン士道　著者　八切止夫
○子どもの知能と育て方　著者　十八氏
○子どもの心と育て方　著者　十三氏
○子どもの生活としつけ　著者　五氏
○女の子のしつけ方　著者　浜尾　実
○NHK王国の内幕　著者　志賀信夫
○現代神仏事典　著者　鳥居数男
○赤ちゃんの名づけ方　著者　吉川博永

つゆどきです

雨から守る郵便受箱を

つゆどきは郵便外務員にとっていちばん気をつかう時期です特に留守で郵便受箱がないご家庭などへ配達する場合は、玄関のすき間などに差しこんだりして配達しなければなりません。このため配達後に郵便が風でとばされたり、雨でぬれてしまうのではないかと、いつも神経をつかっております。

郵便受箱は、郵便を風雨から守るばかりでなく、配達の場所をはっきりとさせてくれます。

郵政省標準規格の受箱は、ほとんどの郵便を収容できますから大型の郵便が留守で配達できないということもありません。さらに、受箱に家族名、同居人氏名を記入していただければ、まちがって配達することもありません。

まだ受箱を取りつけてないご家庭はぜひお取りつけください